

## 4 糖尿病

### 【現状】

#### (1) 糖尿病の現状（全国）

平成28年の全国における糖尿病を原因として死亡した者は、13,480人（人口10万対）で、死亡数全体の1.0%を占め、死因順位の第12位です。〔厚生労働省「人口動態統計（確定数）」（平成28年）〕本県において、平成28年に糖尿病を原因として死亡した者は136人（人口10万対）と死亡数全体の1.1%となっています。〔厚生労働省「人口動態統計」（平成28年）〕

平成28年国民健康・栄養調査によると、「糖尿病が強く疑われる者」は約1,000万人と推計され、前回調査した平成24年より50万人増加しています。また、「糖尿病の可能性を否定できない者」も約1,000万人と推計され、前回調査時より100万人減少しています。

糖尿病は、脳卒中、急性心筋梗塞等他疾患の危険因子となる慢性疾患であり、患者は多種多様な合併症により日常生活に支障を来すことが多いといわれています。中でも三大合併症である糖尿病性腎症は重症化すると人工透析の導入、糖尿病性網膜症は重症化すると失明、糖尿病性神経障害は足の切断等の恐れがあります。

人工透析患者は全国で約32万5千人で、糖尿病性腎症が原疾患である患者は増加傾向にあり、全体で38.4%（約12万人）で、2015年に人工透析を新規で導入した患者に限ると43.7%です。〔日本透析医学会「図説 わが国の慢性透析療法の現況 2015年12月31日現在」〕

また、歯周病は、糖尿病における腎症、網膜症、神経障害、虚血性心疾患、脳血管障害に次ぐ第6の慢性合併症ともいわれ、糖尿病があると、歯周病が発症・悪化しやすいことがわかっています。さらに、近年、糖尿病患者に対し歯周病の治療・管理を行うことにより、血糖コントロールが改善することが示され、糖尿病（高血糖）と歯周病の間には双方向の関連性が示唆されており、糖尿病患者は歯周病の治療・管理が必要です。

糖尿病には根治的な治療方法がないものの、血糖コントロールを適切に行うことにより、合併症の発症を予防することが可能です。合併症の発症は、患者の生活の質（QOL）を低下させ、生命予後を左右することから、その予防が重要です。

予防・治療には、患者自身による生活習慣の自己管理に加えて、各診療科が、日本糖尿病療養指導士や糖尿病の知識を有する管理栄養士、保健師、看護師、薬剤師、歯科衛生士等の専門職種と連携して実施する医療サービスが必要です。

#### (2) 香川県の状況

##### ① 糖尿病に関する主な指標

項目	香川	全国平均	備考
健康診断・健康診査の受診率	71.6%	67.3%	平成28年 国民生活基礎調査

特定健診実施率	48.1%	50.1%	平成27年度 厚生労働省保険局提供
糖尿病受療率（人口10万対）	282	191	平成26年 患者調査
糖尿病性腎症による新規透析導入率 （人口10万対）	14.2	12.6	平成27年 日本透析医学会
糖尿病による 年齢調整死亡率 （男性） （女性）	7.1 3.4	5.5 2.5	平成27年 都道府県別年齢調整死亡率

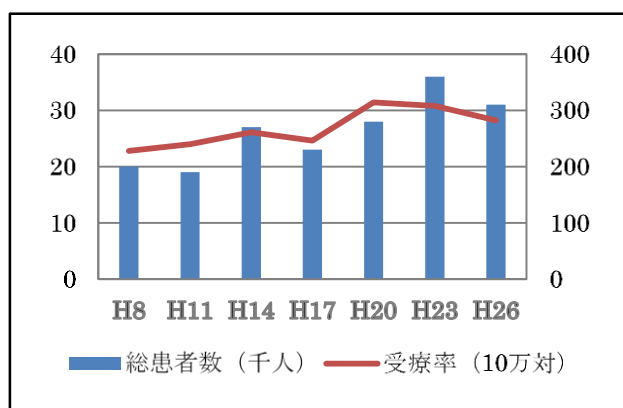
## ② 糖尿病患者の状況

平成26年の患者調査では、糖尿病受療率は人口10万人当たり282人で、全国で2番目に高くなっており（全国平均191人）、糖尿病による死亡率は、平成28年の人口動態調査では人口10万人当たり14.1人で全国9位（全国平均10.8人）となっています。

患者調査の結果推移から、受療率、患者数ともに増加傾向にあります。

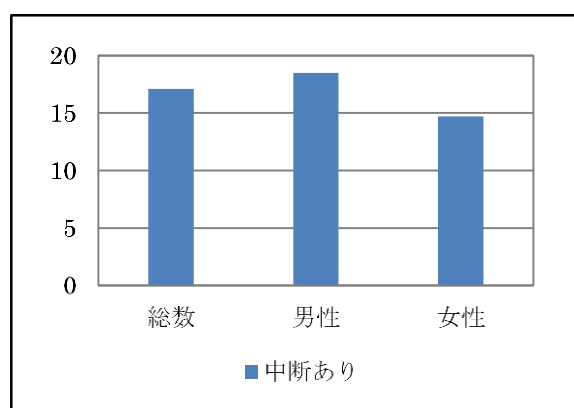
平成28年度糖尿病実態調査の結果では、治療中の60歳以下の2型糖尿病患者の17.1%が治療を中断したことがあると答えており、治療を中断した場合は合併症の出現率が高くなっています。また、40歳以下の患者では他の年代と比べ、治療を中断した割合や肥満者の割合、HbA1c値が高くなっています。

糖尿病推計患者数の推移



出典：厚生労働省「患者調査」

糖尿病の治療中断ありの割合



出典：香川県糖尿病実態調査（平成28年度）

## 平均在院日数

項目	大川	小豆	高松	中讃	三豊	香川県	全国
糖尿病 病院退院患者平均在院日数	16.7	11.0	15.1	70.1	8.6	30.0	35.1

出典：厚生労働省「患者調査」（平成26年）

③ 医療機関の状況

	病院+診療所					
	全県	大川	小豆	高松	中讃	三豊
糖尿病内科（代謝内科）の医師数 ※医師届出票において従事する診療科名を「糖尿病内科（代謝内科）」と届出た医師数	66	2	0	44	18	2
糖尿病専門医が在籍する医療機関の数	59	2	1	31	17	8
内分泌・代謝・栄養領域の一次診療に対応できる医療機関の数	437	36	8	214	131	48
「内分泌機能検査」に対応できる医療機関の数	200	11	6	98	64	21
「インスリン療法」に対応できる医療機関の数	382	26	8	179	124	45
「糖尿病患者教育」に対応できる医療機関の数	315	17	6	152	102	38
糖尿病による合併症に対する継続的な管理・指導に対応できる医療機関の数	239	11	4	120	79	25
「小児糖尿病」に対応できる医療機関の数	38	3	1	18	12	4
「小児内分泌疾患」に対応できる医療機関の数	42	5	1	21	12	3
「小児（先天性）代謝疾患」に対応できる医療機関の数	23	3	1	10	6	3
糖尿病専門外来のある医療機関の数	72	4	0	34	22	12
「在宅患者訪問栄養食事指導」ができる医療機関の数	25	3	1	8	11	2
「在宅自己注射指導管理」ができる医療機関の数	410	28	8	197	133	44
「在宅自己腹膜還流指導管理」ができる医療機関の数	36	1	1	19	13	2

（香川県医療機能・薬局機能情報提供システム）

初期・安定期の治療については、概ね各圏域とも確保されています。

専門治療や合併症治療等に対応できる医療機関（専門医、専門外来等）は、増加傾向にありますが、小豆圏域においては糖尿病内科の医師数、糖尿病専門外来のある医療機関数が0となっています。

糖尿病内科（代謝内科）の医師数は人口10万人当たり6.8人となり、全国平均の5.2人を上回っています。[医師・歯科医師・薬剤師調査(平成26年)]

【課題】

(1) 発症予防

糖尿病死亡率・受療率が全国平均と比べ、高い状況にあることから、低年齢層を含めた生活習慣の改善による糖尿病の発症予防や、健診の受診勧奨等により糖尿病予備群の早期発見や適切な対応が必要です。

(2) 医療体制

平成28年度糖尿病実態調査では、平成20年度に実施した同調査と比較すると、看護師等のコメディカルスタッフによる療養指導の実施や、日本糖尿病療養指導士を配

置している医療機関は増加していました。また、かかりつけ医と糖尿病専門医間での連携は75.2%、腎疾患専門医との連携は58.5%、眼科医との連携は61.5%の機関でできていましたが、歯科医との連携は24.5%、市町・事業所等の保健師・栄養士等とは17.3%にとどまっていた。

糖尿病の患者には生涯を通じての治療継続が必要となるため、かかりつけ医や高度医療を担う医療機関等の情報提供を充実させるほか、医療機関等が連携を深め、患者が継続して治療を受けられるような体制の構築が必要です。さらに、医療機関や地域保健、職域保健が連携し、患者が治療を継続できるような支援が必要です。

歯周病の進行は糖尿病をさらに悪化させるといった、歯周病と糖尿病の相互関係のエビデンスが確立されています。歯周病の治療を行うことで、糖尿病のコントロールが改善されることも明らかになってきていることから、糖尿病治療機関と歯科医療機関との連携体制を整備する必要があります。

糖尿病と歯周病に関する正確な知識を深めた日本糖尿病協会歯科医師登録医は37名（平成29年5月現在）となっており、医科歯科連携の強化を進めるうえで、登録医の貢献が期待されます。

また、歯周病を早期に発見し適切な対応ができるよう、歯周病検診の実施率を向上させることが求められます。

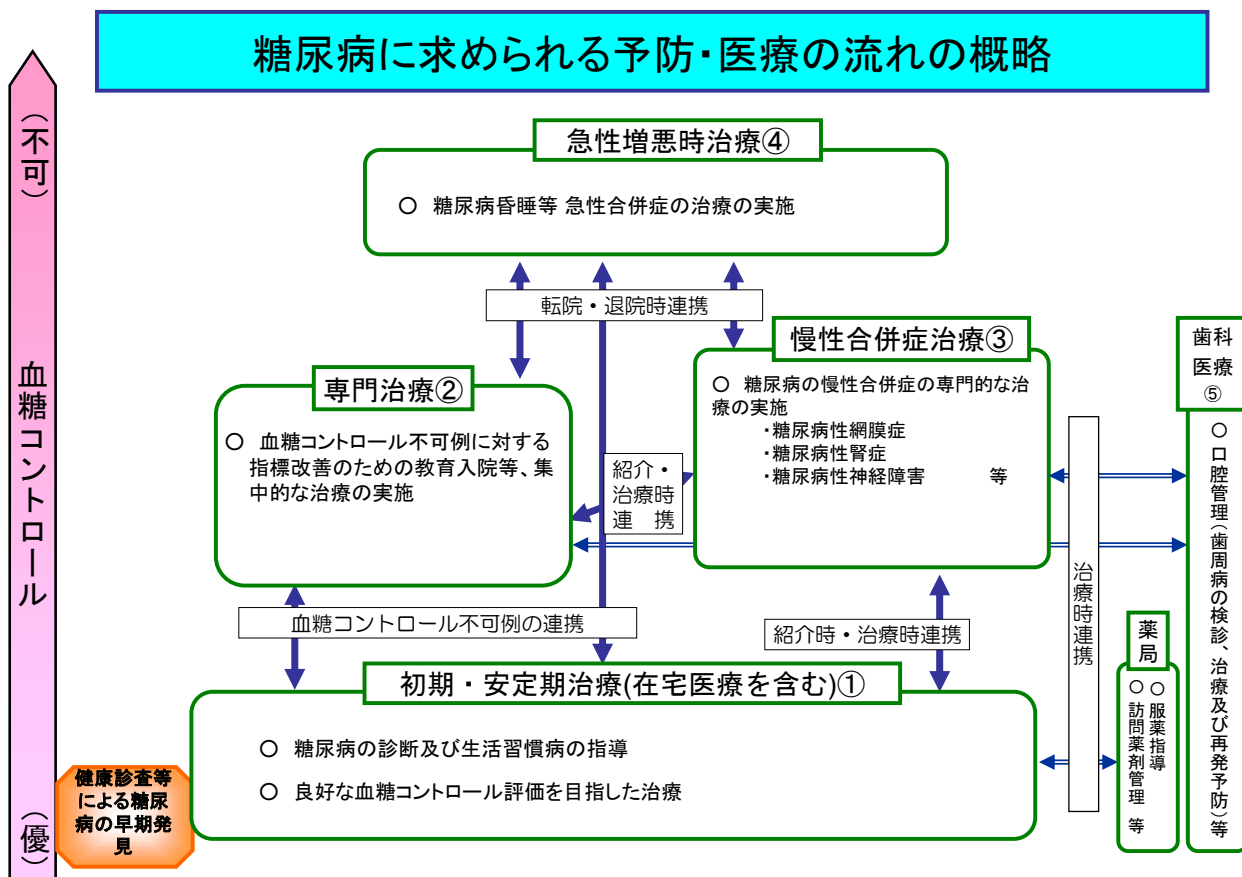
## 【対策】

### （1）発症予防

- ① 「健やか香川21ヘルスプラン（第2次）」に基づき、関係機関と連携して、各年代に応じた生活習慣改善の取組みを推進し、糖尿病の発症予防に努めます。
- ② 子どもの健康状態の把握や子どもと保護者等への普及啓発を行うなど、子どもの頃から生活習慣病の予防に関する意識向上を図ります。
- ③ 糖尿病予備群を早期に発見し適切な対応ができるよう、特定健診・特定保健指導の実施率向上及び従事者の資質向上に努めます。
- ④ 保健・医療・教育・地域等の関係者による情報交換や意見交換の機会を設け、効果的な予防対策について検討を進めます。

### （2）医療体制

- ① 歯科医療機関等を含む関係医療機関、地域保健、職域保健等の連携体制の構築に努め、治療中断や重症化予防を図ります。
- ② 患者が適切な治療を受け、療養生活ができるよう、患者に対する保健指導に従事する者の資質向上に努めます。



#### 【数値目標】

(1) 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数 (人口 10 万人当たり)

項目	導入患者数(H27)		目標	目標年次
	香川県	全国平均		
香川	14.2	12.6	12.6	平成 35 年度 (2023 年度)

(2) 糖尿病 年齢調整死亡率(人口 10 万人当たり)

項目	年齢調整死亡率(H27)		目標	目標年次
	香川県	全国平均		
男性	7.1	5.5	5.5	平成 35 年度 (2023 年度)
女性	3.4	2.5	2.5	平成 35 年度 (2023 年度)